

定例教育委員会会議録

平成30年5月28日

境港市教育委員会（平成30年5月28日委員会会議録）

招集年月日 平成30年5月28日 15時30分

招集場所 市役所第三会議室

開 会 15時30分 教育長宣言

出席委員 ① 松本 敏浩 ② 十河 淳 ③ 酒井 伊津子
⑤ 徳永 由樹 ⑥ 赤石 有平

教育長から説明のため出席を求められた者

教育委員会事務局長 影 本 純

教育総務課長 木 村 晋 一

教育総務課長補佐 高 濱 禎 彦

教育総務課長補佐 松 本 昭 児

生涯学習課長 黒 崎 享

生涯学習課長補佐 濱 田 潤

生涯学習課長補佐 北 野 瑞 拡

教育総務課係長 荒 岡 真 樹

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課係長 荒 岡 真 樹

提出議案 議案第21号 境港市社会教育委員の委嘱について
議案第22号 境港市青少年育成センター運営協議会委員の
委嘱について
議案第23号 境港市公民館運営審議会委員の委嘱について
議案第24号 境港市学校給食センター運営委員会の委嘱に
ついて

協議事項 教育委員会の点検・評価について

報告事項 5月の行事報告、6月の行事予定など

が、境港警察署生活安全刑事課少年担当係長に入っていたかくことになりました。もう少し女性の数を増やさないといけないと思っています。PTAから会長でなくても女性の方に入っていたいたり、学校から生徒指導の女性の先生が入っていたらと思います。以上です。

松本教育長 青少年育成センター運営協議会委員の委員数の制限はありますか。

生涯学習課長 条例では、委員18人以内をもって組織することになっています。

松本教育長 そうすると女性が参加しやすい団体に入っていたかくこともできますか。

生涯学習課長 できます。あと二人参加していただくことができます。

松本教育長 PTAや学校などから女性委員の参加をしていただくように今後努めるということ踏まえて、承認という事でよろしいでしょうか。（異議なし）続きまして、議案第23号境港市公民館運営審議会委員の委嘱について事務局から提案をお願いします。

生涯学習課長 議案第23号境港市公民館運営審議会委員の委嘱についてです。誠道公民館の公民館運営審議会が13名だったのですが、このたび6月1日付で新たに高松さんが公民館運営審議会委員になっていただけるということで議案としてあげさせていただきました。以上です。

松本教育長 ただいまの提案について質問・意見がありませんか。（なし）それでは承認という事でよろしいですか。（異議なし）続きまして、議案第24号境港市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について事務局から提案をお願いします。

教育総務課長 議案第24号境港市学校給食センター運営委員会委員の委嘱についてです。PTAの役員交代、鳥取県職員の人事異動に伴い新たな委員の委嘱を行う事です。平成30年6月1日か

らの任期を予定しています。残任期間は平成31年6月30日までとなっています。以上です。

松本教育長 ただいまの提案について質問・意見がありませんか。（なし）
それでは承認という事でよろしいですか。（異議なし）つづいて協議事項に入ります。

【4. 協議事項】

松本教育長 「教育委員会の点検・評価」についてご意見・ご質問がありましたらお願いします。

赤石委員 学識経験者の方に外部評価をしていただき大変的確な評価をいただいておりますが、評価をしていただく際に何度も学校に足を運んでいただいたりしていたのでしょうか。

教育委員会事務局長 佐々木さんにつきましては生涯学習課の事業の評価をしていただき、築谷さんに学校教育に関する評価をしていただきました。学校教育課が所管していた事業に関しては、築谷さんのところに資料を持参して、2時間程度話をしながら意見を伺いました。築谷さんは小学校・中学校で勤務した経験があり事業内容もよく把握されており、非常に的確なアドバイスをいただいております。

生涯学習課長 生涯学習課は資料を佐々木さんにお預けして2週間程度かけて評価をしていただいております。昨年に続き2度目の外部評価をしていただきました。

赤石委員 読ませていただくと非常に的確な分析がされていたのでどのように評価されたのかなと思いましたが、ただ、事業の評価の多くが順調に進められたとなっていて、課題的なことも書いてありますが、もう少し厳しい面が出てもいいかなとも思いました。

松本教育長 事務局が行った自己評価をもとに外部評価をしてもらったということよろしいですか。

教育委員会事務局長 自己評価での、「成果・効果」「課題・問題点」というと

ころを説明しながら、外部評価をしていただきました。

松本教育長

赤石委員からもご指摘がありましたが、これからの改善につなげていくのが大きな目的ですので、次の事業の改善につながる評価をしていかなければなりません。外部評価をしていただく体制も含めて、これから充実していきたいと思えます。そのほかご意見等ありますか。

十河委員

児童クラブ運営事業についてですが、児童クラブの受け入れを6年生まで拡大していただいて、大変有意義にすごさせていただいて、生活習慣も身につけて、宿題をしてから遊ぶようにもなりました。検討事項の中で、生活上の問題については、クラブだけの指導は難しいというところがありますが、児童クラブが発信するようなお便りなどは見かけないようですが、いかがでしょうか。

教育総務課長

定期的なお便りを作っているところではなくて、連絡事項は迎えにきた保護者と面談して口頭で伝えていきます。各クラブでは、ただお子さんをお預かりするのではなくて、校外や地域に出かけて、モラルや社会規範を教えることもやっていますので、提言いただいたお便りについては、指導主任員と話をしながら、保護者とより連携がとれるようにしたいと思います。

松本教育長

事業としては順調に進んでいるんですが、実際には現場の苦労は大きいと思います。保護者は預かり時間の延長を希望されますが、人材確保が難しくなっており、職員にかなりの負担をかけながら、子どもたちの安全を意識して、お預かりしているという状況です。これからの児童クラブの在り方というのは、もっと考えていかなければならないかと思えます。

酒井委員

同じく児童クラブ運営事業のことなのですが、問題点で特別な支援を必要とする児童もあり、児童理解を含め対応能力が求められるという風にあります。教員との連携が大事だと思います。同じ校舎で実施されているということもありますので、情報交換はしやすいとは思いますが、学校との連携はどの程度されているのでしょうか。

教育委員会事務局長 特別支援学級に通っている子どもたちが児童クラブを使用する場合は1名の加配をつけて、指導員を多くつけています。生活上で配慮が必要な子どもには、状況によっては学校の先生に見に来てもらったり、主任が学校側に子ども様子を聞いたりしています。学校での様子と、児童クラブでの様子が違うという事もありますのでお互いに情報交換もしています。特別支援コーディネーターが情報提供をしたり、様子を見たりしています。そういったことをやりながら、情報をやりとりして連携をしています。主任によってはケース会議に参加して、学校の様子を聞いたり、児童クラブでの様子の情報提供をしたりしています。

酒井委員 以前はあまり連携が取れなかった時期がありました。児童クラブは児童クラブといった学校にはかかわりがなかったり、学校側としてもどこまで情報提供していいのかわからないといった状況もありました。今お聞きして、連携がとれるようになってきていいことだと思いました。

松本教育長 児童クラブの職員の皆さんは、学校のように組織があつて管理職がいて、管理職にいろんな相談ができるといった状況ではないので、そのあたりの悩みはあるのかなとは思いますが。そういった悩みを事務局の方に相談されています。学校との連携が日常的に行われるようにしていかなければならないかと思えます。事務局も橋渡しをしていかなければならないと思えます。

十河委員 文化財保存・保護事業補助金で「オコニャ」というのは初めて聞きましたが、このような無形文化財について話を聞いたり、発表をしていただく機会がありますか。

生涯学習課長 記録作成を講ずべき無形文化財を県が指定をして、行事を行う団体の同意が得られれば最終的には文化財となります。前段として、鳥取県では境港市でしかされていない「オコニャ」を県の事業を活用して記録を残そうとしているところです。この内容について聞きたいことがありましたら詳しい職員がおりますのでご相談ください。

学校・家庭・地域の連携による教育支援活動推進事業について補足説明をします。この事業の中で見守りボランティアの活動を行っていただいているのですが、これまで中浜地区だけ組織がありませんでした。このたび徳永委員のお力添えで6月1日付で中浜地区にも見守りボランティアができることになりました。各自治会から6,70名の方が登録していただくこととなります。これで市内全地区見守りボランティアが結成することになりました。徳永委員ありがとうございました。

松本教育長

新潟で事件があったので、防犯カメラの設置が必要ではないか、防犯カメラの抑止力がありますが、主に力を発揮するのは再発防止、事件が起きたときの解決ということになります。誰も被害が出ないようにするには人間の目による見守りが一番いいと考えています。境港市は徐々に充実してきて、不審者の数も昨年からぐっと減ってきています。それで安心しているわけではないですが、地域の方の目は重要だと感じています。

学校訪問をしていただいて、一年生や特別支援学級などの様子を見ていただいた感想を踏まえたご意見をいただけたらと思います。

酒井委員

地域学校協働推進事業の検討事項として地域コーディネーターの配置等を検討する必要があるとありますが詳しい説明をお願いします。

教育委員会事務局長

地域コーディネーターは地域と学校をつなぐ橋渡しを担っていただく方で、今後、コミュニティ・スクールが本格的に始動するときには、学校と地域をマッチングさせたり、地域にどういった資源があるか、学校にどういったニーズがあるかなどをうまく合わせていく活動を期待しています。一中校区が、導入準備の2年目に入って、平成31年度から本格的な導入になりますが、地域コーディネーターを本格始動の段階で配置するよりは、早めに参加していただいて、本格始動への地ならしも必要だと考えています。今年の一中校区のコミュニティ・スクールの導入に向けて地域コーディネーターを1名募集しました。6月から配置されます。来年度は三中

校区の導入準備に向けて地域コーディネーターを1名配置したいと思います。コミュニティ・スクールを進めていく中で地域コーディネーターが必要と考えていますので、人力的な配置をしていきたいと思っています。

松本教育長

将来的にはディレクターを事務局に配置し全体の推進にかかわる仕事をしていただいて、各中学校区に地域コーディネーターを配置して学校と地域の連携を推進する組織体制を作っていきたいと思っています。

赤石委員

将来的には小中一貫校または義務教育学校を目指すことを受けて、中学校区でコミュニティ・スクールに取り組みられていますが、3つの中学校区で小中一貫校を進めていくのならばいいと思いますが、万が一、中学校区が2校になった場合には、困ったことにならないか。

教育委員会事務局長

何校区になるかという境港市の将来像がはっきりしていませんが、校区審議会では現在の3校区を基本としてはいませんが、将来の児童・生徒数を見て最終的に決めてくださいます。ただ、将来的に何校になるかわからないからといって大事な要素であるコミュニティ・スクールに手を付けないわけにはいかないと思っています。今ある3校区でコミュニティ・スクールを進めて、そののちに2校体制になったとしてもコミュニティ・スクールに取り組んだ実績は残るので、再編の際に軋轢等はあるかもしれませんが、同じように取り組んだベースは無駄にならないと考えています。

松本教育長

学校訪問をされていかがでしたでしょうか。

十河委員

今回、小学校と中学校を見させてもらいましたが、一中が非常に古いと聞いていましたが、修繕・改修がしてあって、言われないと古い施設だというのはあまりわかりませんでした。設備等は修繕等がしっかりされているように感じました。子どもたちについては、一中、二中、三中を訪問しましたが、子どもたちが入学して1、2カ月で、まだワシャワシャしたような感じではありましたが、一緒に給食を食べさせていただいて、その中では私は今回初めて、給食センターで作られ

た給食を食べさせていただいて、立派な食事が出てきて、味もおいしくて、温かい、大変すばらしい食事が提供されていると感じました。小学校でも、まだざわざわしたようなところはありましたが、これから落ち着いて勉強をしていくんだらうなというようには感じました。設備的には市内の学校は冷房も暖房も整備され非常によいと思いました。ただ、中学校の授業を参観した中で、もうすでに勉強についていけない子が何人かいるように見受けられて、どうしてあげたいのだからと親目線でもやもやしたものを感じました。

酒井委員

児童・生徒数が目に見えて減って、ロッカーががら空きだったり、マンモス校だった境小学校が35人クラスだけで空き教室がたくさんあったりと、児童・生徒数の減少を実感しました。第二中学校に学びの教室が新設されたという事で、中学生が安心して通えるようになったと思いますが、今は何名ぐらいが通っていますか。

教育委員会事務局長

正確な数ではないかもしれませんが、8名を通級に認定しています。二中の生徒は二中で実施していますが、一中や三中の場合は、先生が学校に出向いて、各中学校で通級指導をしています。放課後の移動となると時間のロスがあるので教員を兼務にして出向いて指導ができるようにしています。

酒井委員

学びの教室への通級は小学校でも非常に多いので中学校に入った子にも必要だと思っていましたので。もう一つ通級で、ことばの教室の人数が少ないように聞いたのですが、広報とかはしているのでしょうか。

教育委員会事務局長

ことばの教室の担当の先生からはことばの教室だよりを先生方や教育委員会事務局にもいただいています、活動のお知らせや、気になる生徒の確認など、啓発に努めていただいています。ことばの教室については、これから随時申し込みが出てくることが多く、保育所などでは気にならなかったけれども、進学して、学習をしていく中でつまづきがあるとか、後でわかる例がありますので、小学校になってから相談が来ることがあります。後々増えてくる傾向があります。

中学校の通級については、今まではなかったもので、境小学

校で対応していただいていたのですが、だんだん状況が厳しくなり、平成29年度になるときに県に相談して、通級の方法が定数加配という事になったので、申請したら中学校でもできるということで、境港市でも措置ができました。中学校でも支援を受けられる充実した状況になったと思います。二中の通級教室には、主に中学生なのですが、校区内の小学生も通えるような方向に移行できるように準備を進めたいと思っています。3つある通級教室を活用できるように体制を整えていきたいと思っています。

松本教育長

まだまだご意見等があるとは思いますが、気付かれた点がありましたら、事務局へお伝えしていただけたらと思います。続きまして、報告事項をお願いします。

【5・報告事項】

《教育総務課、生涯学習課 行事等報告》

松本教育長

ただいまの行事報告等で質問がございますか。（なし）
つづいて、5月15日に開催した誠道小学校統合に係る説明会について報告します。

教育委員会事務局長

5月15日午後7時から誠道公民館で誠道小学校学校統合に係る説明会を行いました。参加者は、地域の方が男性17名、女性22名、そのほかに行政、公民館、学校、市議会、報道など総勢50名を超す参加者になりました。説明の内容につきましては、大きく4つの項目にわけて説明をしました。最初は、境港市校区審議会の審議の経緯について、校区審議会の答申が誠道小学校のあり方を大きく定めていますので、どのような経緯で第一候補案、第二候補案になったのかということをかいつまんで説明しました。2番目に校区審議会の最終答申を受けたのちの協議について市役所内の庁内関係部署で構成する境港市学校適正配置庁内連絡調整委員会で3回議論しましたが、その議論の様子について説明しました。3番目にそれを基に、教育委員会で決定した内容について説明しました。それから総合教育会議に諮り、市長部局と合意を得たという流れを説明しました。4番目に、今後の予定について、今後、統合に向かっては統合準備委員会を設置して、い

ろんな諸課題について協議を行って、話し合っていくことを説明しました。さまざまな意見がでましたが、一番強く出たのが登下校のことでした。距離が延びるということや安全の確保、スクールバスの運行など、またどちらの校舎を使うのかなどについても話がでました。さまざまな意見が出ていますが、今後は、学校統合準備委員会を両学校関係者やPTA、地域代表で組織して、細かい内容について決定していきます。7月ぐらいから立ち上げたいと考えています。準備委員会の設置要綱を作っていて、事務手続きをしながら、委員の人選を含め、話し合いを進めてければと思っています。今後、子どもの気持ちや、保護者の気持ちを前向きにもっていけるような、切り替えが必要ではないかという意見があり、そういったことに配慮をしながら進めないといけないと思っています。

松本教育長

ただいまの説明について質問等ございませんか。

子どもの通学負担という事に心配される保護者が多くいました。たしかに、今の誠道小学校に通うよりは、距離が伸びますので負担があるかとは思いますが、一番遠くて2キロ程度なので、誠道小学校の校長先生が実際歩いてみて、2キロ程度なら徒歩通学ですと言われていました。歩いたほうが子どもにとってプラスかと思えます。その分、通学路の安全確保という事は我々の仕事になります。交通量が多いところ、死角が多いところ、人通りがないところを避けた通学路にすることが必要かと思えます。そういった中で、地域の方がどの道を選ばれるのか。どうしても踏切を渡らないといけないので、どの踏切を渡らせるのか、それによって集団登校でいくのか、個人登校でいくのか。集合をどこにするのか。そういったこともきちっと決めていかないといけないと思います。

赤石委員

距離だけで言えば、夕日ヶ丘から中浜小学校の方が遠いですよね。スクールバスを使用するとなると、夕日ヶ丘から中浜小学校も運行しないとイケませんね。

十河委員

私の家から渡小学校まで2キロありますが、小学校1年生の時から送ったことはありません。2.1キロ程度だったら徒歩で通学できると思います。

松本教育長

ふつう2. 1キロ程度だったら歩いて通う距離だと思います。
校舎が新しいのは誠道小学校だから、余子小学校の児童を誠道小学校に通わせたらどうかという話がありましたが、教室の絶対数が足りなくなります。統合すると、各学年が二クラスになりますが、それに特別支援学級の知的、情緒、ことばの三つあります、そして図書室を二つ、そうすると16ぐらいの教室が必要になります。誠道小学校は普通教室で使えるのが11クラスしかないので、物理的に難しい。

そのほか質問等はございませんか。(なし)

【5. 閉会】

○松本教育長

それでは議題は終了しました。本日の定例委員会は閉会といたします。ありがとうございました。

